

# 病態制御医学講座／小児科学領域

## 附属病院／小児科

### 1. 領域構成教職員・在職期間

|     |       |                                    |
|-----|-------|------------------------------------|
| 教授  | 眞弓 光文 | 平成9年2月－                            |
| 助教授 | 谷澤 昭彦 | 平成5年4月－                            |
| 講師  | 塚原 宏一 | 昭和63年6月－                           |
| 講師  | 大嶋 勇成 | 平成10年9月－                           |
| 助手  | 中井 昭夫 | 平成3年11月－平成7年4月, 平成10年4月－           |
| 助手  | 畑 郁江  | 平成12年7月－                           |
| 助手  | 川谷 正男 | 平成15年4月－                           |
| 助手  | 田村 知史 | 平成15年5月－                           |
| 助手  | 古畑 律代 | 平成14年10月－平成15年3月, 平成17年12月－平成19年3月 |

### 2. 研究概要

#### ● 研究概要

病態制御医学講座／小児科学領域および附属病院／小児科で実施されている研究は、「アレルギー・免疫・感染部門」、「血液・腫瘍部門」、「腎・泌尿器部門」、「胎児・新生児・未熟児部門」、「神経・発達・成育・子どもの心・保健部門」、「内分泌・代謝・栄養・先天異常部門」、「循環器部門」の7部門に分類される。個々の部門はそれぞれ独立して、また、相互に協力して、研究を実施している。個々の部門の研究概要は別に示す。

#### ● キーワード

小児科学, 免疫性疾患, アレルギー性疾患, 代謝異常, 栄養性疾患, 泌尿生殖器の疾患の治療, 血液腫瘍, 小児神経, 子どものこころ, 発達障害, 小児循環器, 未熟児・新生児

#### ● 業績年の進捗状況

各部門毎に記載。

#### ● 特色等

多くの大学において、小児科は内科と同じだけの専門分野をひとつの教室が担うという特色を有している。本学の小児科も、ひとつの教室に「アレルギー・免疫・感染部門」、「血液・腫瘍部門」、「腎・泌尿器部門」、「胎児・新生児・未熟児部門」、「神経・発達・成育・子どもの心・保健部門」、「内分泌・代謝・栄養・先天異常部門」、「循環器部門」の7つの診療・研究部門を擁している。したがって、個々の部門は極めて少人数の構成にならざるを得ないが、どの分野も極めて活発に、独創的で世界的水準の研究と専門医療を実施している。

#### ● 本学の理念との関係

本学の理念にある「世界的水準での研究の推進」、「独創的でかつ地域の特色に鑑みた医学研究の実施」、「専門医療の実践」に良く適合するものである。

### アレルギー・免疫・感染部門

#### ● 研究概要

小児のアレルギー疾患、免疫疾患、感染症を対象に、その病因・病態の解析と治療法の開発のための研究を実施している

- **キーワード**

小児科学, 免疫性疾患, アレルギー性疾患, 感染症, 寄生虫病

- **業績年の進捗状況**

科学研究費補助金・基盤研究 (B) 「胎児・胎盤機能を維持する分子機構の解明と周産期疾患の治療介入についての統合的研究」 (研究代表者)、同 基盤研究 (C) 「末梢血線維細胞の機能解析による気道リモデリングの危険因子の同定と予防法の検討」 (研究代表者)、厚生労働科学研究事業 「アレルギー性疾患の発症・進展・重症化の予防に関する研究」 (分担研究者)、厚生労働科学研究事業 「アレルギー疾患の自己管理と個別化医療を目指した早期診断基準と早期治療法の確立及びその有効性と有害事象の評価に関する総合的研究」 (分担研究者)、「アトピー性皮膚炎ガイドライン研究班」 (研究協力者)、「気管支喘息治療・管理ガイドライン研究班」 (研究協力者)、受託研究 「気道リモデリングを標的とした新規治療法の基礎的検討」などの研究、および、日本小児科学会編集委員、日本小児アレルギー学会編集委員、日本アレルギー学会編集委員、日本小児アレルギー学会喘息ガイドライン委員会委員、日本小児アレルギー学会食物アレルギーガイドライン委員会委員などの活動を通して、小児アトピー性疾患の病因病態における食物アレルギーの関与の解明と新しい治療法の開発、樹状細胞機能の制御機構の解明とそのアレルギー疾患治療・予防への応用の可能性、アトピー性疾患発症危険因子としての内分泌攪乱物質の作用機序の解析などの研究と共に、我が国の小児気管支喘息ガイドライン、アトピー性皮膚炎ガイドライン、食物アレルギーガイドラインの作成に中心的な役割を果たした。臨床では、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、小児膠原病を中心に、その病態の解析やより有効な診断法・治療法の開発研究を行った。

- **本学の理念との関係**

小児科学全体として記述

## 血液・腫瘍部門

- **研究概要**

小児血液疾患、悪性腫瘍の病因・病態の解析と治療法の開発に関する研究を実施している。

- **キーワード**

小児科学, 臨床腫瘍学, 血液腫瘍, 血液の疾患の治療

- **業績年の進捗状況**

血液・腫瘍部門は日本小児白血病リンパ腫研究グループ (JPLSG)、日本小児白血病研究会 (JACLS) 参加施設として、白血病・悪性リンパ腫の最先端の臨床治療研究、また難治症例への造血幹細胞移植を取り入れた治療を行った。その診療のなかでの個々の症例の概要や知見について報告するとともに、急性リンパ性白血病の中樞神経再発や合併症について解析を行い知見を発表した。また JPLSG の CML 委員会活動を通じて、がん診療ガイドライン (小児白血病領域) の慢性骨髄性白血病ガイドライン作成に貢献した。

- **本学の理念との関係**

小児科学全体として記述

## 腎・泌尿器部門

## ● 研究概要

小児の腎疾患、尿路系疾患の病因・病態の解析と、治療法の開発に関する研究を実施している。

## ● キーワード

小児科学, 泌尿生殖器の診断, 泌尿生殖器の疾患の治療

## ● 業績年の進捗状況

厚生労働科学研究費補助金 小児難治性腎尿路疾患の早期発見、診断、治療・管理に関する研究の中で、「尿路感染症の診断、治療、管理システムの構築に関する研究」で研究助成を受けた。主たる研究成果を以下に示す。(1) 膀胱尿管逆流症 (VUR)、尿路感染症 (UTI) の管理：当科ではVURを有する乳幼児に対して、UTI発症後6か月間は1か月に1回の頻度で検尿してUTIの早期診断に努めるとともに、発熱があれば24時間以内に来院し検尿を受けるように指導している。包茎の強い男児ではその解除に努め、また、男女を問わず排尿回数を増やすように指導している。画像診断については、超音波を駆使することで患者への侵襲を最小限に抑えている。このような管理を行うことにより、VUR患者の90%以上で抗菌剤を内服しなくてもUTIが発症しなくなることを示した。また、UTIの再発傾向があるのは女児であり、それはVURの重症度とは関連しないことも明らかにした。女児に対しては、排尿習慣の確立、外陰部汚染の防止などを徹底させる必要があると考えられた。(2) 先天性腎尿路異常症、代謝異常症：先天性腎尿路異常症の腎・尿路において酸化ストレスが亢進していることを、特異的尿中マーカーの分析によりはじめて示した。先天性銅代謝異常に起因するWilson病の肝臓組織では、肝臓病変の進展に伴い酸化ストレスが亢進すると同時に抗酸化能が疲弊することを、組織生化学的手法によりはじめて示した。酸化ストレスの亢進がこれらの病態の進展促進因子であるならば、抗酸化剤が病態進展の抑止に効果的に働く可能性があり、それは、病的臓器の機能保持のための有効な手段になると期待された。

## ● 本学の理念との関係

小児科学全体として記述

## 内分泌・代謝・栄養・先天異常部門

## ● 研究概要

小児内分泌・代謝疾患の病因・病態の解明と治療法の開発に関する研究を実施している

## ● キーワード

小児科学, 代謝異常, 栄養性疾患, 先天性疾患, 奇形, 内分泌系の疾患の治療, 内分泌系の診断

## ● 業績年の進捗状況

日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(C)(2)「タンデム質量分析計を用いた新生児代謝異常マスキングのパイロットスタディ」および厚生労働省科学研究費補助金・子ども家庭総合研究事業による)では、約35万新生児の中から39例の患児を診断し、このスクリーニングを日本全国に拡大する基盤を形成するとともに、後発のパイロットスタディ参加機関への技術支援を進めた。更にスクリーニング精度を高める新しい検査法の開発も行った。脂肪酸酸化異常症の化学診断およびフルクトース1-6ビスフォスファターゼ欠損症の酵素診断については、引き続き、我が国における中心施設として全国各地の医療機関のみならず、インドや中国の研究機関からも分析依頼を受け付け、多数の患者の診断に貢献した。有機酸代謝異常症や脂肪酸酸化異常症の患者の化学診断や治療評価のための生化学分析の成果をもとに、本年度はこれらの疾患の治療指針を作成した。内分泌・代謝疾患の臨床研究では、1型糖尿病患者の合併症の評価に関する研究を行った。

## ● 本学の理念との関係

## 胎児・新生児・未熟児部門

### ● 研究概要

周産期疾患の病因と病態の解析および治療法の開発に関する研究を実施している。

### ● キーワード

小児科学, 先天性疾患, 奇形, 新生児, 未熟児, 胎児

### ● 業績年の進捗状況

科学研究費補助金 基盤研究 (C) 「糖尿病血管系合併症における分子機構の解明と治療戦略への応用」、福井大学重点研究 競争的配分経費「胎児期・乳幼児期・学童期・思春期においてアルギニン代謝が循環制御に果たす役割についての分子医学的研究: 統合創薬の開拓に向けて」による研究助成を受けた。主たる研究成果を以下に示す。(1) 酸化ストレス: 各種特異的尿中マーカー (8-OHdG、アクロレイン、NO代謝物、ペントシジン) の年齢・男女別の、乳児期から青年期にかけての基準値を示した。この研究の中で、生理的状況において、乳幼児が年長児に比べて酸化ストレスをより多く受けることが明らかになった。この基礎データを用いることで、今後、さまざまな小児疾患・病態において酸化ストレスの果たす役割や治療効果の評価が可能になると期待された。(2) 水・電解質: 新生児・未熟児の水・電解質異常の管理、骨代謝異常の管理に関する方略を複数の著書、雑誌に明示するとともに、啓蒙活動を行った。(3) 生体イメージング: われわれがはじめて提唱し、最近になり1つの疾患単位として認知されるようになった、“一過性脳梁膨大部病変を伴う脳症・脳炎”の追加症例の報告と総説を著した。なお、去年に引き続き、国際雑誌への投稿論文の査読を精力的にこなした (Arterioscler Thromb Vasc Biol、Clin Chem、Crit Care Medなど計15編)。

### ● 本学の理念との関係

小児科学全体として記述

## 神経・発達・成育・子どものころ・保健部門

### ● 研究概要

小児神経疾患の病因・病態の解明と治療法に関する研究、障害児の成育と保健や子どものころの発達に関する研究を実施している。

### ● キーワード

小児科学, 神経系の診断, 神経系の疾患の治療, 子どものころ, 脳発達

### ● 業績年の進捗状況

乳幼児健診、小児神経・筋疾患の診療・研究をはじめ、社会的にも重要な課題である注意欠陥多動性障害 (AD/HD)、広汎性発達障害、学習障害、トゥレット障害など「発達障害」や不登校、摂食障害、小児心身症、転換性障害、PTSDなど様々な「子どものころ」の問題についても、心理士や保育・教育、福祉の現場と連携し、チーム医療として精力的に取り組んでいる。また、これら「子どものころ」の発達とその問題についての正しい知識・理解の普及など啓発活動を県内外各方面に対し活発に行っている。加えて、増え続ける「医療的ケア」のニーズに関しても福井県と協働で、教師自らが実践できる体制を構築し、その研修・指導の中心的役割を果たしている。臨床研究として、AD/HDに対するノルアドレナリン再吸収阻害剤の有効性・安全性について、また、子宮内発育遅延 (SGA) の低身長に対する成長ホルモン療法によるQOL改善効果等について行っている。研究では、1) 自然科学研究機構生理学研究所と共同研究を科研費基盤Sなどを受け、機能的MRIを用いた小児

の高次脳機能発達の画像化について行っている。2) 日立製作所基礎研究所と光トポグラフィーによる乳児脳機能の発達について産学共同研究を行っている。3) McGill大学モントリオール神経研究所と共同でセロトニン作動薬の脳内代謝についてのバイオイメーキング研究について発表した。4) 学内共同研究も、科研費基盤C、学内競争的配分経費（学部間、基礎・萌芽、競争的）などの助成を受け、高エネルギー医学研究センターや教育地域科学部と発達障害についての研究、医学部看護学科との親性育成のための体験・学習プログラムの作成とその科学的評価に関する研究などについて精力的に行っている。これらの成果の一部は国際学会でも発表した。また、5) メディアなどでも注目度の高い「日本赤ちゃん学会」を教育地域科学部松木健一教授大会長のもと、企画・実行委員長、事務局長として運営し、一般の方を含め多数の参加者を集めた。

● **本学の理念との関係**

小児科学全体として記述

**循環器分野**

● **研究概要**

小児の先天性および後天性心疾患の病因・病態の解明とその治療法の開発に関する研究を実施している。

● **キーワード**

小児科学, 循環系の診断, 循環系の疾患の治療

● **業績年の進捗状況**

臨床面においては (1) 先天性心疾患の診断、治療 (2) 生後発症小児心疾患 (不整脈、川崎病後冠動脈障害など)、 (3) 学童の心臓検診とそのフォローを行ない、そこで得た知見は関連学会、雑誌上で発表した。小児循環器分野ではカテーテル治療、外科治療を含め、チーム医療が不可欠であり、県内、県外の関連施設と協力しつつ治療を行っている。基礎面では川崎病と酸化ストレス、新生児の循環動態についての研究を行っている。

● **本学の理念との関係**

小児科学全体として記述

**3. 研究実績**

| 区 分    |                 | 編 数         |        | インパクトファクター (うち原著のみ) |                  |
|--------|-----------------|-------------|--------|---------------------|------------------|
|        |                 | 2001～2006年分 | 2006年分 | 2001～2006年分         | 2006年分           |
| 和文原著論文 |                 | 63          | 6      | -----               | -----            |
| 英文論文   | ファーストオーサー       | 86          | 7      | 148.545 ( 148.029)  | 5.280 ( 5.280)   |
|        | コレスポンス・インク・オーサー | 84          | 7      | 142.178 ( 141.662)  | 5.280 ( 5.280)   |
|        | その他             | 42          | 7      | 122.712 ( 115.347)  | 19.676 ( 19.676) |
|        | 合計              | 129         | 14     | 272.818 ( 264.937)  | 24.956 ( 24.956) |

(A) 著書・論文等

(1) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

**(0531177)**

\***K. Nishijima**, \*K. Shukunami, H. Tsukahara, \*F. Kotsuji: Conservative versus extirpative management in cases of placenta accreta. *Obstet Gynecol*, 105 (1), 220, 2005.01, #2.957 (症例報告)

**0631001**

**I.Hata**, +M.Kaji, +S.Hirano, \*Y.Shigematsu, H.Tsukahara, M.Mayumi: Urinary oxidative stress markers in young patients with type 1 diabetes. *Pediatr Int*, 48 (1), 58-61, 2006.02, #0.670

**0631002**

**Y.Todoroki**, **H.Tsukahara**, M.Kawatani, Y.Ohshima, \*K-I.Shukunami, \*F.Kotsuji, M.Mayumi: Neonatal suppurative parotitis possibly associated with congenital cytomegalovirus infection and maternal methyl dopa administration. *Pediatr Int*, 48 (2), 185-186, 2006.04, #0.670 (症例報告)

**0631003**

**+J.Takanashi**, +A.J.Barkovich, +T.Shiihara, +H.Tada, M.Kawatani, H.Tsukahara, +M.Kikuchi, +M.Maeda: Widening spectrum of a reversible splenic lesion with transiently reduced diffusion. *AJNR Am J Neuroradiol*, 27 (4), 836-838, 2006.04, #2.530

**0631004**

**Y.Mori**, **M.Hiraoka**, \*N.Suganuma, H.Tsukahara, \*H.Yoshida, M.Mayumi: Urinary creatinine excretion and protein/creatinine ratios vary by body size and gender in children. *Pediatr Nephrol*, 21 (5), 683-687, 2006.05, #1.620

**0631005**

**+J.Takanashi**, +M.Oba, +H.Tada, +H.Tanabe, +Y.Tanabe, +H.Yamanouchi, +S.Fujimoto, +M.Kato, M.Kawatani, +A.Sudo, +H.Ozawa, +T.Okanishi, +M.Ishitobi, +Y.Maegaki, +Y.Koyasu: Diffusion MRI abnormalities after prolonged febrile seizures with encephalopathy. *Neurology*, 66 (9), 1304-1309, 2006.05, #5.690

**0631006**

\***K.Nishijima**, \*K.Shukunami, H.Tsukahara, \*M.Orisaka, \*J.Miura, \*F.Kotsuji: Micelles of pulmonary surfactant in human amniotic fluid at term. *Pediatric Research*, 60 (2), 196-199, 2006.08, #2.880

**0631007**

**R.Kobata**, **H.Tsukahara**, M. Kawatani, \*K.Nishijima, \*K-I.Shukunami, \*F.Kotsuji, +M.Ueno, M.Mayumi: Hepatocyte growth factor concentration in umbilical cord blood. *Medical Postgraduate*, 44 (4), 415-417, 2006.10

**0631008**

**+H.Nagasaka**, +I.Inoue, +A.Inui, +H.Komatsu, +T.Sogo, +K.Murayama, +T.Murakami, +T.Yorifiji, +K.Asayama, +S.Katayama, +S.Uemoto, +K.Kobayashi, +M.Takayanagi, +T.Fujisawa, H.Tsukahara: Relationship between oxidative stress and anti-oxidant systems in liver of patients with Wilson disease: Hepatic manifestation in Wilson disease as a consequence of augmented oxidative stress. *Pediatr Res*, 60 (4), 472-477, 2006.10, #2.880

**0631009**

**+M.Maeda**, H.Tsukahara, +H.Terada, +S.Nakaji, +H.Nakamura, +H.Oba, +O.Igarashi, +K.Arasaki, +T.Machida, +K.Takeda, +J.I.Takanashi: Reversible splenic lesion with restricted diffusion in a wide spectrum of diseases and conditions: Report of eight additional cases and literature review. *J Neuroradiol*, 33 (4), 229-236, 2006.10, #0.610

**0631010**

**S.Tamura, H.Tsukahara, +M.Ueno, +M.Maeda, +H.Kawakami, +K.Sekine, M.Mayumi:** Evaluation of a urinary multi-parameter biomarker set for oxidative stress in children, adolescents and young adults. *Free Radic Res*, 40 (11), 1198-1205, 2006.11, #2.320

### **0631011**

**+A.Watanabe, A.Nakai, +Y.Tohyama, +KQ.Nguyen, +M.Diksic:** Effects of anpirtoline on regional serotonin synthesis in the rat brain: an autoradiographic study. *Nuclear Medicine and Biology*, 33, 325-32, 2006, #2.129

#### **b. 総説**

### **0631012**

**H.Tsukahara, R.Kobata, S.Tamura, +A.Hata, M.Mayumi, \*K.Nishijima, \*K.Shukunami, +M.Ueno, +H.Kawakami, +M.Uchiyama, +K.Sekine, +M.Miura:** Advanced glycation end-product formation from fetus to adolescence: A parameter for evaluating “carbonyl stress” status in humans. *J Dev Nephrol*, 14 (1), 42-48, 2006.09

### **0631013**

**M.Mayumi:** Topics on Inhaled Steroid Therapy in Childhood Asthma -Focusing on the Differences in the Guidelines for Childhood Asthma in Japan, the United States and Europe-. *International Review of Asthma*, 8 (2), 21-31, 2006

## **(2) 和文：著書等（proceedingsを除く）**

#### **a. 著書（共著）**

### **0631014**

**+喘息予防・管理ガイドライン2006作成委員会, 眞弓 光文, +社団法人日本アレルギー学会喘息ガイドライン専門部会:** 喘息予防・管理ガイドライン2006, 協和企画, 2006

### **0631015**

**+山本 昇壮, +社団法人日本アレルギー学会アトピー性皮膚炎ガイドライン専門部会, +河野 陽一, 眞弓 光文:** アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2006, 協和企画, 2006

### **0631016**

**+日本小児アレルギー学会食物アレルギー委員会, 眞弓 光文, +向山徳子, +西間三馨, +森川 昭廣:** 食物アレルギーハンドブック 保護者ならびに医療スタッフの方々へ, 協和企画, 2006

#### **b. 著書（分担執筆）**

### **0631017**

**塚原 宏一:** 尿検査: 尿中細菌: 五十嵐 隆, 水口 雅(編): 小児臨床検査ガイド, 文光堂, 588-594, 2006.04

### **0631018**

**大嶋 勇成:** 衛生仮説の妥当性と矛盾点: 五十嵐 隆, 水口 雅(編): 小児アレルギーシリーズ: 喘息, 診断と治療社, 218-220, 2006

### **0631019**

**眞弓 光文:** 第12章 アレルギー疾患: 森川 昭廣, 内山 聖, 原 寿郎(編): 標準小児科学第6版, 医学書院, 312-322, 2006

### **0631020**

**眞弓 光文:** 第13章 膠原病および類縁疾患: 森川 昭廣, 内山 聖, 原 寿郎(編): 標準小児科学第6版, 医学書院, 335-345, 2006

### **0631021**

眞弓 光文: 第2部 アレルギー診療の新しい展開, 第1章 小児気管支喘息, 3. 小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2005, 4) 乳児喘息, : 日本小児医事出版社(編): 小児科臨床増刊 小児アレルギー学の新しい展開, 日本小児医事出版社, 2006

### 0631022

眞弓 光文: 食物アレルギー: 大関 武彦, 古川 漸, 横田 俊一郎(編): 今日の小児治療指針, 14, 医学書院, 240-241, 2006

### 0631023

塚原 宏一, 眞弓 光文: ショック: 三河 春樹, 松尾 宣武, 森川 昭廣(編): 鑑別診断の手引き: 『小児救急の手引き』フローチャートより, 臨床医薬研究協会, 69, 78-79, 2006.03

### (3) 和文: 論文等

#### a. 原著論文 (審査有)

### 0631024

古畑 律代, +金谷 由宇子, 田村 知史, 徳力 周子, 塚原 宏一, 谷澤 昭彦, 平岡 政弘, 眞弓 光文, \*西島 浩二, \*宿南 憲一: 胎児超音波検査でPotter sequenceを疑われ、出生後urosepsisの管理に難渋した多発性嚢胞腎の1女児例. Pharma Medica, 24 (5), 126-129, 2006.05 (症例報告)

### 0631025

+早川 和代, +藤永 英志, +奥村 光祥, +中西 宏美, +三國 貴康, +横尾 憲孝, +濱畑 啓悟, +吉田 晃, +田中 里江子, 塚原 宏一, +百井 亨: 骨形成不全症IIA型の乳児例. 小児科臨床, 59 (5), 995-999, 2006.05 (症例報告)

### 0631026

佐藤 周子, +梶原 真清恵, +紫 英人, +竹内 元治, 塚原 宏一, \*出口 洋二, 眞弓 光文: 重症心身障害者における血清中セレンおよびチオレドキシンの計測. 小児科臨床, 59 (6), 1147-1151, 2006.06

### 0631027

徳力 周子, 塚原 宏一, 古畑 律代, 田村 知史, 眞弓 光文: 新生児骨代謝の評価: 特に子宮収縮抑制剤の作用について. 第23回小児代謝性骨疾患研究会発表論文集, 13-17, 2006.11

### 0631028

田村 知史, +金谷 由宇子, 塚原 宏一, 谷澤 昭彦, 眞弓 光文, \*今村 好章: 初診時に左心房内への進展を呈していた胸膜肺芽腫の1例. 日見誌, 110 (12), 1671-1675, 2006.12 (症例報告)

### 0631029

+西間 三馨, +崎山 幸雄, +森川 みぎ, +角田 和彦, +吉原 重美, +森川 昭廣, +河野 陽一, +西牟田 敏之, +十字 文子, +相原 雄幸, +懸 裕篤, +伊藤 浩明, +宇理須 厚雄, +近藤 直実, 眞弓 光文, +平家 俊男, +伊藤 節子, +末廣 豊, +有田 昌彦, +古川 漸, +濱崎 雄平: 小児アレルギー疾患におけるアレルゲン感作の全国調査. 日本小児アレルギー学会誌, 20 (1), 109-118, 2006

#### b. 総説

### (0531178)

+海老澤 元宏, 眞弓 光文, +相原 雄幸, +玉置 淳子, +宇理須 厚雄, +近藤 直実, 大嶋 勇成, +柴田 瑠美子, +亀山 浩, +赤澤 晃: 厚生労働科学研究班による「食物アレルギーの診療の手引き2005」. <http://jaanet.org/medical/guide.html>

<http://www.allergy.go.jp/allergy/guideline/index.html>, 2005 (資料・解説)



### 0631030

\*重松 陽介, 畑 郁江: 健診・検査後の対応とその評価-新生児スクリーニング-有機酸代謝異常症. 小児科臨床, 59 (4), 635-641, 2006.04

### 0631031

塚原 宏一: 新生児: 体液・電解質異常. 小児科診療 (増刊号: 小児の治療指針), 69, 861-867, 2006.04

### 0631032

徳力 周子, 塚原 宏一, 大嶋 勇成, 古畑 律代, +塚原 康代, +谷崎 崇, +太田 徳仁, +西井 学, +関根 恭一, 眞弓 光文: CoQ10の臨床的研究: 小児疾患とCoQ10. 機能性食品と薬理栄養, 3 (4), 241-248, 2006.06

### 0631033

塚原 宏一: 小児における異常ナトリウム血症の管理. 小児科臨床, 59 (7), 1543-1553, 2006.07

### 0631034

塚原 宏一: 平成17年度小児科医会例会ミニシンポジウム (小児の画像診断) 可逆性脳梁膨大部病変を伴う脳症・脳炎: 新しい疾患単位として. 平成18年度福井県小児科医会会報, 35, 24-29, 2006.07 (資料・解説)

### 0631035

塚原 宏一: 一酸化窒素 (NO) と腎臓: 個人的考察. 小児腎臓病学会雑誌, 19 (2), 96-103, 2006.11

### 0631036

\*重松 陽介, 畑 郁江, \*田中 幸枝: 質量分析計による化学診断法の進歩. 小児科診療, 69 (11), 1615-1620, 2006.11

### 0631037

大嶋 勇成: 食物アレルギーの免疫療法の現状と展望. 小児科臨床, 59, 1409-1415, 2006

### 0631038

大嶋 勇成: 小児喘息におけるICSの有用性と位置付け. 臨床免疫・アレルギー科, 46, 48-52, 2006

### 0631039

大嶋 勇成: 胎内感作とアトピー素因. 臨床免疫・アレルギー科, 46, 262-266, 2006

### 0631040

中井 昭夫: Images in Child Neurology. 脳と発達, 38, 245-246, 2006 (資料・解説)

### 0631041

眞弓 光文: 小児喘息における吸入ステロイド薬療法のトピックス ―日米欧の小児ガイドラインの相違を中心に―. International Review of Asthma, 8 (2), 21-31, 2006

### 0631042

眞弓 光文: 乳児喘息に対する薬物療法 ―長期管理のポイント―. 小児科, 47 (7), 1071-1078, 2006

### 0631043

+向山 徳子, +西間 三馨, +有田 昌彦, +伊藤 節子, +宇理須 厚雄, +海老澤 元宏, +小倉 英郎, +河野 陽一, +近藤 直実, +柴田 留美子, +古庄 巻史, 眞弓 光文: 食物アレルギー診療ガイドライン. 日児誌, 110 (7), 904-911, 2006

## 0631044

眞弓 光文: 乳児（2歳未満）喘息の長期管理について（JPGL2005を踏まえてどのように対応すべきか？） 特集：ガイドライン2005に沿った小児喘息の管理. 喘息, 19（4）, 45-48, 2006

## 0631045

眞弓 光文: 小児喘息の治療ガイドライン—小児の喘息の発作時の対応. 特集：最新の気管支喘息治療. 臨床と研究, 83（11）, 1637-1641, 2006

### c. その他研究等実績（報告書を含む）

## 0631046

塚原 宏一, 古畑 律代: 超早産（在胎28週未満）で出生した児の水電解質代謝の評価とその制御: 輸液療法のガイドライン作成に向けて. 福井大学重点研究成果報告書, 128-129, 2006.03

## 0631047

+五十嵐 隆, +松山 健, +伊藤 雄平, 塚原 宏一, +中井 秀郎, +飯島 一誠, +塚口 裕康, +関根 孝司, +吉川 徳茂, +本田 雅敬, +服部 新三郎, +幡谷 浩志, +和田 尚弘: 平成17年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）総括研究報告書: 小児難治性腎尿路疾患の早期発見、診断管理・治療に関する研究（主任研究者 五十嵐隆）. 平成17年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）総括・分担研究報告書, 1-16, 2006.03

## 0631048

塚原 宏一: 平成17年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）分担研究報告書: 小児難治性腎尿路疾患の早期発見、診断管理・治療に関する研究（主任研究者 五十嵐隆）. 尿路感染症の診断、治療、管理システムの構築に関する研究. 平成17年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）総括・分担研究報告書, 2006.03

## 0631049

+佐倉 伸夫, +但馬 剛, +小野 浩明, +西村 裕, +中常 千代美, +渡川 美弥子, +柳川 順子, +吉井 千代子, +浜川 以行, 畑 郁江, \*重松 陽介: 高速液体クロマトグラフィを用いた酵素診断法によるタンデムマス新生児スクリーニング陽性例の確定診断. 平成17年度厚生労働科学研究費補助金（子どもの家庭総合研究事業）「わが国の21世紀における新生児マススクリーニングのあり方に関する研究」総括・分担研究報告書, 2006.03

## 0631050

\*重松 陽介, 畑 郁江: タンデム質量分析新生児マススクリーニング・パイロットスタディの実績と新しい分析方法の検討. 平成17年度厚生労働科学研究費補助金（子どもの家庭総合研究事業）「わが国の21世紀における新生児マススクリーニングのあり方に関する研究」総括・分担研究報告書, 2006.03

## 0631051

畑 郁江, \*重松 陽介: 濾紙血を用いたチロシン血症1型マススクリーニング法の検討. 平成17年度厚生労働科学研究費補助金（子どもの家庭総合研究事業）「わが国の21世紀における新生児マススクリーニングのあり方に関する研究」総括・分担研究報告書, 2006.03

## 0631052

大嶋 勇成, 眞弓 光文: 食品低アレルゲン化法の開発による食物アレルギー治療. 厚生労働科学研究費補助金「免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業」食物等によるアナフィラキシー反応の原因物質（アレルゲン）の確定、予防・予知法の確立に関する研究平成17年度総括・分担研究報告書 主任研究者 海老澤元宏, 27-29, 2006.03

### 0631053

眞弓 光文, 大嶋 勇成: アレルギー性疾患の発症危険因子の同定と予防対策の検討. 福井大学重点研究成果集2006:明日への挑戦, 44-45, 2006.03

### 0631054

眞弓 光文: 小児アレルギー診療の新たな地平を目指して. 日本小児アレルギー学会誌, 20 (1) , 1-9, 2006

### 0631055

眞弓 光文: 巻頭言 喘息を治癒させることは可能か. アレルギー・免疫, 13 (6) , 7, 2006

### 0631056

+森川 昭廣, +足立 満, +興梠 博次, 眞弓 光文: 座談会「大人の喘息、子どもの喘息」. 呼吸, 25 (11) , 1015-1028, 2006

### 0631057

塚原 宏一: 糖尿病血管系合併症における分子機構の解明と治療戦略への応用. 平成17年度科学研究費補助金実績報告書 (基盤研究C) , 2006

## (B) 学会発表等

### (1) 国際学会

#### a. 一般講演 (口演)

### 0631058

+M. Tsunoo, +H. Terada, +E. Kohda, +K. Nakahara, H.Tsukahara, +S. Nakaji, +H. Nakamura, +H. Oba, +O. Igarashi, +K. Arasaki, +T. Machida, +J. Takanashi, +K. Takeda, +M. Maeda: Unique transient DWI findings of the splenium of the corpus callosum: Review of nine cases, 18th Symposium Neuroradiology: Scientific Meeting of the WENRS, 2006.03

### 0631059

+M. Maeda, +H. Terada, +H. Oba, +S. Nakaji, +H. Nakamura, +T. Machida, +M. Tsunoo, +K. Takeda, +J. Takanashi, H.Tsukahara: Reversible splenial lesion with restricted diffusion in a wide spectrum of diseases and conditions: Report of eight further cases, 44th Annual Meeting of American Society of Neuroradiology, 2006.05

### 0631060

+O. Igarashi, +Y. Iwasaki, +M. Maeda, H.Tsukahara, +H. Terada, +S. Nakaji, +H. Nakamura, +H. Oba, +K. Arasaki, +T. Machida, +K. Takeda, +J. Takanashi: Reversible splenial lesion with restricted diffusion in a wide spectrum of disease and conditions, 131st Annual Meeting of the American Neurological Association, 2006.10

#### b. 一般講演 (ポスター)

### 0631061

A.Nakai, M.Kawatani, \*Y.Yonekura, +N.Sadato: A new method for screening of cortical auditory impairment in infants: an fMRI study, International Conference on Infant Studies, 2006.06, Kyoto, Japan

### 0631062

+Y.Hirabayashi Y, +H.Sato, +M.Uchida, +T.Katsura, +T.Ashida, +K.Oka, +M.Kanai, A.Nakai, +I.Konishi, +A.Maki: Whole-brain Probe Cap for Mapping Brain-functions of Neonates Using Optical Topography, International Conference on Infant Studies, 2006.06, Kyoto, Japan

### 0631063

\*A.Sasaki, A.Nakai, \*K.Matuki, \*M.Tanabe: Fundamental study of “Development of Motherhood” learning program -Psychological, physiological, and endocrinological evaluations of firsthand learning about infants-, International Conference on Infant Studies, 2006.06, Kyoto, Japan

### **0631064**

\*Y.Shigematsu, I.Hata, M.Mayumi, \*Y.Tanaka, +K.Kobayashi, +T.Saheki: Newborn screening pilot study for citrin deficiency: no abnormal amino acid profiles in some newborn patients, The 10th International Congress of Inborn Errors of Metabolism, 2006.09, Chiba (JAPAN), J Inher Metab Dis, 29 (Suppl 1) , 81, 2006.09

### **0631065**

I.Hata, H.Tsukahara, \*Y.Shigematsu, M.Mayumi: Hypocalcemia in mitochondrial trifunctional protein deficiency, The 10th International Congress of Inborn Errors of Metabolism, 2006.09, Chiba (JAPAN), J Inher Metab Dis, 29 (Supp 1) , 114, 2006.09

### **0631066**

+Y.Okano, +A.Tamamori, +A.Fujimoto, +K.Kobayashi, +T.Saheki, +H.Takei, +Y.Tagami, \*Y.Shigematsu, I.Hata, +T.Yamano: Newborn mass screening for citrin deficiency: effects of citrin deficiency in the perinatal period, The 6th Meeting of the International Society for Neonatal Screening, 2006.09, Awaji (JAPAN), Abstracts, ISNS 2006, 139, 2006.09

### **0631067**

+G.Tajima, +N.Sakura, +Y.Nishimura, +H.Ono, +C.Nakatsune, +M.Togawa, +J.Yanagawa, +M.Kubota, +C.Yoshii, +M.Hamakawa, +Y.Hasegawa, I.Hata, +E.Naito, +S.Yamaguchi, \*Y.Shigematsu: Enzymatic diagnosis of very-long-chain acy-CoA dehydrogenase deficiency by detecting 2-hexadecenoyl-CoA production using HPLC: A practical confirmatory test for MS/MS-based screening in Japan, The 6th Meeting of the International Society for Neonatal Screening, 2006.09, Awaji (JAPAN), Abstracts, ISNS 2006, 153, 2006.09

### **0631068**

+G.Tajima, +N.Sakura, +Y.Nishimura, +H.Ono, +C.Nakatsune, +M.Togawa, +J.Yanagawa, +M.Kubota, +C.Yoshii, +M.Hamakawa, +Y.Hasegawa, I.Hata, +E.Naito, +S.Yamaguchi, \*Y.Shigematsu: An HPLC-based enzymatic diagnosis system for MS/MS newborn screening of organic acid and fatty acid disorders conducted in Japan, The 6th Meeting of the International Society for Neonatal Screening, 2006.09, Awaji (JAPAN), Abstracts, ISNS 2006, 154, 2006.09

### **0631069**

\*Y.Shigematsu, I.Hata, \*Y.Tanaka: Isovalerylglycine measurement in dried blood spots by tandem mass spectrometry for newborn screening of isovaleric acidemia, The 6th Meeting of the International Society for Neonatal Screening, 2006.09, Awaji (JAPAN), Abstracts, ISNS 2006, 155, 2006.09

### **0631070**

\*Y.Shigematsu, I.Hata, M.Mayumi, \*Y.Tanaka, +K.Kobayashi, +T.Saheki: Newborn screening for citrin deficiency: No abnormal amino acid profile in some patients during newborn period, The 6th Meeting of the International Society for Neonatal Screening, 2006.09, Awaji (JAPAN), Abstracts, ISNS 2006, 139, 2006.09

### **0631071**

+K.Horibe, +T.Kudoh, +H.Hori, +S.Nishimura, +M.Oda, +M.Yoshida, +Y.Komada, +J.Hara, +A.Tawa, +I.Usami, A.Tanizawa, +K.Yumura-Yagi: Effective risk-adapted therapy for childhood B-precursor acute lymphoblastic leukemia (ALL) with the Japan Association of Childhood Leukemia Study (JACLS) ALL-97 protocol, The American Society of Hematology 48th Annual Meeting, 2006.12, Blood (ASH Annual Meeting Abstracts), 108, 1874, 2006.11

### **0631072**

+N.Suzuki, +K.Yumura-Yagi, +J.Hara, +M.Yoshida, +S.Nishimura, +T.Kudoh, +A.Tawa, +I.Usami, A.Tanizawa, +H.Hori, +Y.Ito, +R.Miyaji, +Y.Komada, +M.Oda, +K.Horibe: Improved Outcome of Childhood Acute Lymphoblastic Leukemia (ALL) with Induction Failure Treated on the Japan Association of Childhood Leukemia Study (JACLS) ALL F-Protocol, The American Society of Hematology 48th Annual Meeting, 2006.12, Blood (ASH Annual Meeting Abstracts), 108, 1886, 2006.11

## **(2) 国内学会 (全国レベル)**

**a. 招待・特別講演等**

**0631073**

塚原 宏一: Nitric oxide (NO) と腎臓, 第41回日本小児腎臓病学会学術集会, 2006.06

**0631074**

眞弓 光文: アレルギー治療の考え方ーアトピー性皮膚炎を中心に, 第53回日本小児保健学会, 2006.10

**0631075**

眞弓 光文: 感染と喘息, 第56回日本アレルギー学会秋季学術大会, 2006.11

**b. シンポジスト・パネリスト等**

**0631076**

大嶋 勇成: 食物アレルギーモデルによる病態解析とその治療戦略, 日本薬学会126年回, アレルギーの解明と制御を目指して, 2006.03, 仙台

**0631077**

大嶋 勇成: アレルギー性炎症の発症機序, 第109回日本小児科学科学術集会, 乳幼児気管支喘息治療の早期介入, 2006.04, 金沢

**0631078**

\*意元 義政, 塚原 宏一, \*山田 武千代, \*高橋 昇, \*藤枝 重治: スギ花粉症における上気道と下気道の関係, 第18回日本アレルギー学会春季臨床大会, イブニングシンポジウム, 2006.05, 東京

**0631079**

眞弓 光文: 小児科領域におけるアレルギー科教育のあり方, 第18回日本アレルギー学会春季臨床大会, アレルギー科としての教育・診療のありかた, 2006.05

**0631080**

大嶋 勇成: 樹状細胞とT細胞のクロストークからみたアレルギー性炎症制御の可能性, 第56回日本アレルギー学会秋季学術大会, Th1/Th2パラダイムの再評価ーマウスからヒトへー, 2006.11, 東京

**c. 一般講演 (口演)**

**0631081**

+安富 素子, +金谷 由宇子, 山田 彰子, 大嶋 勇成, 眞弓 光文: 呼吸困難、喘鳴を主訴に初回入院となった患児の予後因子の検討, 第18回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2006.05, 東京

**0631082**

山田 彰子, 大嶋 勇成, +小俣 合歓子, +安富 素子, 徳力 周子, 眞弓 光文: CD8+ T細胞による即時型食物アレルギー症状抑制効果の検討, 第18回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2006.05

**0631083**

中井 昭夫, \*佐々木 綾子, \*松木 健一: 母性を育てる学習プログラム開発のための基礎的研究ー心理・生理・内分泌による乳幼児とのふれあい体験の評価ー, 第48回日本小児神経学会, 2006.06, 東京

**0631084**

川谷 正男, 中井 昭夫, +平谷 美智夫: 高機能広汎性発達障害における初期言語発達遅延の有無による臨床像の比較, 第48回日本小児神経学会, 2006.06, 東京

**0631085**

塚原 宏一,小倉 一将,古畑 律代,田村 知史,眞弓 光文,\*西島 浩二,\*宿南 憲一,\*小辻 文和,  
+上野 正樹: 生直後に著明な赤芽球増加、低血糖を呈した極低出生体重児例: エリスロポイエチン  
(Epo) 高値の生体応答学的意義について, 第15回発達腎研究会, 2006.08

### **0631086**

+柿沼 宏明,+本間 一正,+八木 信一,+新井田 要,+松嶋 昭廣,中井 昭夫,+津田 英夫,+滝澤  
昇: 日本語版小児てんかん健康関連QOL尺度, 第40回日本てんかん学会, 2006.09, 金沢

### **0631087**

\*重松 陽介,畑 郁江,\*田中幸枝: ESI-MS/MSによる濾紙血中isovalerylglycineの定量とイソ吉草酸血症  
の新生児マス・スクリーニング, 第31回日本医用マススペクトル学会, 2006.09

### **0631088**

川谷 正男,中井 昭夫,+平谷 美智夫: 高機能広汎性発達障害における初期言語発達遅延の有無による  
臨床像の比較, 第96日本小児精神神経学会, 2006.10, 大阪

### **0631089**

\*意元 義政,塚原 宏一,\*山田 武千代,\*高橋 昇,\*藤枝 重治: スギ花粉症患者における咳と呼吸機  
能検査, 第8回日本咳嗽研究会, 2006.10, 神戸

### **0631090**

+玉村 宗一,古畑 律代,畑 郁江,大嶋 勇成,眞弓 光文: 分節型気管狭窄症の1例, 第39回日本小児  
呼吸器疾患学会, 2006.11, 東京

### **0631091**

山田 彰子,大嶋 勇成,小俣合 歆子,安富 素子,徳力 周子,眞弓 光文: CD8+ T細胞による即時型食物アレ  
ルギー-症状抑制効果の検討, 第43回日本小児アレルギー学会, 2006.11, 幕張

### **0631092**

徳力 周子,大嶋 勇成,山田 彰子,眞弓 光文: エンドセリン1 刺激による肺線維芽細胞の機能的変化に及  
ぼすロイコトリエンD4の作用, 第56回日本アレルギー学会秋季学術大会, 2006.11, 東京

#### **d. 一般講演 (ポスター)**

### **0631093**

大嶋 勇成,山田 彰子,+安富 素子,+小俣合 歆子,徳力 周子,眞弓 光文: 母体を介するBisphenol Aへの  
暴露が経口トレランスに及ぼす影響, 第18回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2006.05, 東京

### **0631094**

塚原 宏一: 母乳中の抗酸化因子 (NO、thioredoxin、CoQ10、vitamin E) 濃度の推移, 第6回日本NO学会  
学術集会, 2006.05

### **0631095**

+米谷 博,川谷正男,中井昭夫: 当院で経験したけいれん後にMRI diffusion weighed imaging(DWI)皮質下  
白質高信号を認めた3症例の比較検討, 第48回日本小児神経学会, 2006.06, 東京

### **0631096**

田村 知史,+斎藤 正一: 心肺停止蘇生後に植込み型除細動器を植え込んだ先天性QT延長症候群の1  
例, 日本小児循環器学会, 2006.07, 抄録集, 22 (3), 369, 2006.05

### **0631097**

畑 郁江,塚原 宏一,\*重松 陽介,眞弓 光文: ミトコンドリア三頭酵素欠損症に合併した副甲状腺機能低下症の一例,第40回日本小児内分泌学会学術集会,2006.09

### **0631098**

川谷 正男,中井 昭夫,+平谷 美智夫: 高機能広汎性発達障害における初期言語発達の違いによる臨床像の比較,第6回日本赤ちゃん学会,2006.11,福井

### **0631099**

鈴木 孝二,米谷 博,玉村 宗一,\*西田 公一,畑 郁江,+谷澤 昭彦,眞弓 光文: 当院で経験した異なる臨床経過をとった腎明細胞肉腫の2例,第22回日本小児がん学会,2006.11,福井,小児がん,43(3),551,2006.11

### **0631100**

+Nakajima T, +Baba N, +Hieshima K, Ohshima Y, +Yoshie O, +Saito H: Human CCR6+CD4+ T lymphocytes produce a large amount of CCL20 upon immunological stimulation,第36回日本免疫学会,2006.12,大阪

## **(3) 国内学会 (地域レベル)**

### **a. 一般講演 (口演)**

### **0631101**

塚原 宏一,徳力 周子,古畑 律代,田村 知史,眞弓 光文: 新生児慢性肺疾患 (CLD) 対策としての生後早期ステロイド (デキサメサゾン) 静脈内投与について,第9回未熟児・新生児医療研究会,2006.01

### **0631102**

+米谷 博,川谷 正男,中井 昭夫,塚原 宏一,眞弓 光文: 特異な脳MRI所見を呈したムンプス髄膜脳炎の一例,第49回日本小児神経学会北陸地方会,2006.02

### **0631103**

川谷 正男,中井 昭夫,谷澤 昭彦,\*重松 陽介,眞弓 光文: 障害を持つひとの適切で円滑な医療受診を目指して,福井県小児保健協会学術集会,2006.03,10,24-26,2006.07

### **0631104**

塚原 宏一,徳力 周子,大嶋 勇成,眞弓 光文,+谷崎 崇,+太田 徳仁,+西井 学,+関根 恭一: 母乳中に含まれる抗酸化因子の計測,第45回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会,2006.03

### **0631105**

畑 郁江,塚原 宏一,中井 昭夫,眞弓 光文,\*重松 陽介: ミトコンドリア三頭酵素欠損症の急性増悪時に低カルシウム血症を認める1例,第20回北陸小児内分泌研究会,2006.03

### **0631106**

玉村 宗一,\*冨田 かおり,鈴木 孝二,田村 知史,畑 郁江,谷澤 昭彦,眞弓 光文: 免疫抑制療法に引き続いて同系移植を施行した重症再生不良性貧血の一例,第286回日本小児科学会北陸地方会,2006.03,金沢

### **0631107**

奥野 貴士,田村 知史,畑 郁江,眞弓 光文: 学校にて心肺停止をきたした先天性QT症候群の1例,北陸小児救急・集中治療研究会,2006.05

### **0631108**

塚原 宏一,眞弓 光文: 小児腎臓疾患における一酸化窒素の役割,第55回中部日本糸球体腎炎談話会,2006.07

### **0631109**

塚原 宏一, 徳力 周子, 古畑 律代, 田村 知史, 川谷 正男, 眞弓 光文: 浮腫あるいは異常ナトリウム血症の考え方、対処について, 第10回未熟児・新生児医療研究会, 2006.08

### **0631110**

畑 郁江, 眞弓 光文, \*重松 陽介: 早期より著しい背椎側弯を呈する先天性拘縮性くも指趾症の一女兒例, 第27回北陸先天異常研究会学術集会, 2006.11, 石川県河北郡

### **0631111**

玉村 宗一, 米谷 博, 古畑律代, 大嶋 勇成, 畑 郁江, 眞弓 光文, +小沼 邦男, +増山 宏明, +伊川 廣道: 治療抵抗性の喘息様症状を呈した気管支・分節型気管狭窄症の1歳女兒例, 第288回日本小児科学会北陸地方会, 2006.12

## **(4) その他の研究会・集会**

### **a. 招待・特別講演等**

### **0631112**

眞弓 光文: 小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2005 ー乳児喘息ー, 第36回アレルギーQ&A研究会, 2006.01

### **0631113**

眞弓 光文: 小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2005, 第10回城東地区小児アレルギー懇話会, 2006.01

### **0631114**

眞弓 光文: アレルギー診療治療ガイドライン最新の到達点 小児喘息, 財団法人日本アレルギー協会研修会, 2006.03

### **0631115**

眞弓 光文: 気管支喘息治療・管理ガイドライン2005, 第3回熊本喘息シンポジウム, 2006.03

### **0631116**

眞弓 光文: 小児気管支喘息治療ガイドライン ー乳児喘息を中心にー, 第4回大阪小児喘息治療研究会, 2006.03

### **0631117**

眞弓 光文: 小児喘息の病態と治療, 徳島県医師会学術講演会, 2006.04

### **0631118**

眞弓 光文: 小児喘息の病態と治療, 福井県病院薬剤師会学術講演会, 2006.04

### **0631119**

塚原 宏一: 小児腎臓疾患におけるミゾリビン使用について, 福井小児腎フォーラム, 2006.04

### **0631120**

眞弓 光文: 小児喘息の病態と治療, 第1回京都小児救急疾患研究会, 2006.05

### **0631121**

眞弓 光文: 小児気管支喘息の病態と治療, 千葉アレルギー・ロイコトリエン研究会2006, 2006.06

### **0631122**

大嶋 勇成: 小児アレルギー疾患の病態から見た薬物治療の考え方, 京都薬科大学京薬会卒後教育2000



6年度, 2006.06, 京都

### 0631123

大嶋 勇成: 小児におけるIFN-g産生の特徴, 第1回小児QFT研究会, 2006.07

### 0631124

眞弓 光文: 小児気管支喘息の病態と治療 — JPGL2005を踏まえて —, 滋賀小児科医会, 2006.10

### 0631125

大嶋 勇成: 小児喘息の最新の治療, 坂井地区薬剤師10月勉強会, 2006.10, 坂井

### 0631126

眞弓 光文: 小児気管支喘息の病態と治療 — 乳児喘息を中心に —, 石川県小児科医会秋期例会, 2006.11

#### b. シンポジスト・パネリスト等

### 0631127

大嶋 勇成: 小児気管支喘息ガイドライン, 福井喘息座談会, パネルディスカッション: 小児気管支喘息ガイドライン, 2006.07, 福井

#### c. 一般講演 (口演)

### 0631128

大嶋 勇成, 眞弓 光文: 食物アレルギー実験モデルにおける予防・寛解誘導に関する研究, 第6回食物アレルギー研究会, 2006.01, 東京

### 0631129

米谷 博, 玉村 宗一, 鈴木 孝二, 谷澤 昭彦, 眞弓 光文: 眼球温存療法後に局所および遠隔転移で再発した網膜芽細胞腫, 第24回北陸小児癌症例検討会, 2006.02, 金沢

### 0631130

玉村 宗一, \*冨田 かおり, 鈴木 孝二, 田村 知史, 畑 郁江, 谷澤 昭彦, 眞弓 光文: 一卵生双生児に発症した重症再生不良性貧血の一例, 第20回福井造血幹細胞移植研究会, 2006.03, 福井

### 0631131

谷澤 昭彦: ALL-02寛解導入療法中に発症したposterior reversible encephalopathy syndrome (PRES), 日本小児白血病研究会例会, 2006.05

### 0631132

塚原 宏一: 新生児水電解質管理の基本的な考え方, 第6回福井県立病院母子医療センター勉強会, 2006.12

## (C) その他業績

- ・ 眞弓 光文: World Journal of Pediatrics, Editorial Board Member, 2005～
- ・ 中井 昭夫: 福井県名産のスイカに多く含まれるシトルリンの有用性 <https://db.werc.or.jp/energy/userinfo.php?uid=35>, 原子力・エネルギー関連技術シーズ・データベース, 2006.03～
- ・ 中井 昭夫: JST/RISTEX 『脳科学と社会』 「日本における子供の認知・行動発達に影響を与える要因の解明」研究計画策定会, 日本の子どものコホート研究への「小児科学」からの提案 — 「Locomotion」「Coordination」の発達の重要性とその定量化の可能性について —, 2006.07

## 4. グラント取得

### (A) 科研費・研究助成金等

| 区分         | プロジェクト名                   | 研究課題名 | 代表者名   | 分担者名  | 期間              | 金額<br>(配分額) |
|------------|---------------------------|-------|--------|-------|-----------------|-------------|
| 21世紀COE補助金 | 21世紀COEプログラム<br>(プロジェクト7) |       | *藤林 康久 | 眞弓 光文 | 2006.04～2007.03 | 5,100千円     |

| 区分            | 研究種目               | 課題名   | 代表者名    | 分担者名  | 期間<br>(年度) | 金額<br>(配分額) |
|---------------|--------------------|---|---------|-------|------------|-------------|
| 文部科学省科学研究費補助金 | 基盤研究(B)一般          | 胎児・胎盤機能を維持する分子機構の解明と周産期疾患の治療介入についての統合的研究                    | 眞弓 光文   | 塚原 宏一 | 2006       | 4,800千円     |
| 文部科学省科学研究費補助金 | 基盤研究(C)一般          | 糖尿病血管系合併症における分子機構の解明と治療戦略への応用                               | 塚原 宏一   |       | 2006       | 1,200千円     |
| 文部科学省科学研究費補助金 | 基盤研究(C)一般          | 末梢血線維細胞の機能解析による気道リモデリングの危険因子の同定と予防法の検討                      | 大嶋 勇成   |       | 2006       | 1,200千円     |
| 文部科学省科学研究費補助金 | 基盤研究(C)一般          | タンデム質量分析新生児マススクリーニングの分析精度と有効性の研究                            | *重松 陽介  | 畑 郁江  | 2006       | 2,400千円     |
| 厚生労働省科学研究費補助金 | 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業 | アレルギー疾患の自己管理と個別化医療を目指した早期診断基準と早期治療法の確立及びその有効性と有害事象の評価に関する研究 | +大田 健   | 眞弓 光文 | 2006       | 2,000千円     |
| 厚生労働省科学研究費補助金 | 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業 | アレルギー性疾患の発症・進展・重症化の予防に関する研究                                 | +海老澤 元宏 | 大嶋 勇成 | 2006       | 4,000千円     |
| 厚生労働省科学研究費補助金 | 子ども家庭総合研究事業        | 小児難治性腎尿路疾患の早期発見、診断、治療・管理に関する研究                              | +五十嵐 隆  | 塚原 宏一 | 2006       | 450千円       |
|               |                    | 脳のプログラム   |         |       |            |             |

|         |                  |   |              |       |      |       |
|---------|------------------|---|--------------|-------|------|-------|
| 学内競争的資金 | 学長裁量経費・基礎的・萌芽的研究 | が運動を創り、運動プログラムが脳を創る—協調運動の発達と加齢的変遷におけるバイオメカニクス視点からみたバイオフィードバック研究—        | 眞弓 光文        | 中井 昭夫 | 2006 | 500千円 |
| 学内競争的資金 | 学長裁量経費・基礎的・萌芽的研究 | アレルギー性疾患の発症危険因子の同定と予防対策の検討  | 大嶋 勇成        | 眞弓 光文 | 2006 | 500千円 |
| 学内競争的資金 | 学長裁量経費・基礎的・萌芽的研究 | 子どもの「こころ」と「身体」の発達とその障害支援に対する学際的アプローチ—「子どもの心の発達」「脳科学と教育」研究センター設立への基礎的検討— | 中井 昭夫,*三橋 美典 |       | 2006 | 750千円 |
| 学内競争的資金 | 競争的配分経費・研究       | 「母性を育てる学習プログラム開発と評価—心理・生理・内分泌・脳科学による母性性発達過程の解明—」                        | *佐々木綾子       | 中井 昭夫 | 2006 | 500千円 |
| 学内競争的資金 | 競争的配分経費・研究       | 胎児期・乳幼児期・学童期・思春期においてアルギニン代謝が循環制御に果たす役割についての分子医学的研究: 統合創薬の開拓に向けて         | 塚原 宏一        |       | 2006 | 500千円 |
| 学内競争的資金 | 競争的配分経費・教育       | 両キャンパス間の協力体制の推進に伴う講義の担当協力経費について   | 中井 昭夫        |       | 2006 | 63千円  |

| 区分            | 研究種目    | 課題名                       | 代表者名   | 分担者名           | 期間(年度)        |
|---------------|---------|---------------------------|--------|----------------|---------------|
| 文部科学省科学研究費補助金 | 基盤研究(S) | 非侵襲的脳機能画像法を用いた社会能力発達過程の解明 | +定藤 規弘 | 眞弓 光文<br>中井 昭夫 | 2005<br>~2009 |
|               |         | 軽度発達障害児を認知・神              |        |                |               |

|               |         |                               |        |       |               |
|---------------|---------|-------------------------------|--------|-------|---------------|
| 文部科学省科学研究費補助金 | 基盤研究(C) | 経心理学的手法から判別し、特性に応じた教育支援を実施する。 | *三橋 美典 | 中井 昭夫 | 2005<br>～2007 |
|---------------|---------|-------------------------------|--------|-------|---------------|

(B) 奨学寄附金

|      |             |
|------|-------------|
| 受入件数 | 10 件        |
| 受入金額 | 4,760,000 円 |

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

| 区分          | 主催・共催の別 | 学会名                | 開催日        | 開催地 |
|-------------|---------|--------------------|------------|-----|
| 国内学会(全国レベル) | 主催者     | 第6回日本赤ちゃん学会        | 2006.11    | 福井市 |
| 国内学会(地方レベル) | 主催者     | 第287回日本小児科学会北陸地方会  | 2006.06    |     |
| 国内学会(地方レベル) | 主催者     | 第6回中部小児がんトータルケア研究会 | 2006.09.30 | 福井  |
| その他の研究集会    | 主催者     | 第36回福井県小児保健協会学術集会  | 2006.03    |     |
| その他の研究集会    | 主催者     | アレルギー研修会2006福井     | 2006.05    |     |
| その他の研究集会    | 主催者     | 第37回福井県小児保健協会学術集会  | 2006.07    |     |

(B) 学会の実績

| 学会の名称       | 役職名      | 氏名    |
|-------------|----------|-------|
| 日本小児腎臓病学会   | 評議員      | 塚原 宏一 |
| 日本赤ちゃん学会    | 評議員      | 中井 昭夫 |
| 日本小児神経学会    | 社会活動支援委員 | 中井 昭夫 |
| 日本小児アレルギー学会 | 理事       | 眞弓 光文 |
| 日本感染症学会     | 評議員      | 眞弓 光文 |
| 日本アレルギー学会   | 代議員      | 眞弓 光文 |
| 日本小児感染症学会   | 評議員      | 眞弓 光文 |
| 日本小児呼吸器疾患学会 | セミナー委員   | 眞弓 光文 |
| 日本小児呼吸器疾患学会 | 運営委員     | 眞弓 光文 |
| 日本小児科学会     | 代議員      | 眞弓 光文 |

(C) 座長

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|--|--|--|

| 国際学会     | 学会名   | 氏名    |
|----------|---|-------|
| 招待・特別講演等 | The 16th Congress of Interasma Japan/North Asia | 眞弓 光文 |

| 国内学会（全国レベル） | 学会名                 | 氏名    |
|-------------|---------------------|-------|
| 招待・特別講演等    | 第30回日本小児皮膚科学会学術大会   | 眞弓 光文 |
| 招待・特別講演等    | 第56回日本アレルギー学会秋期学術大会 | 眞弓 光文 |
| 招待・特別講演等    | 第43回日本小児アレルギー学会総会   | 眞弓 光文 |
| シンポジウム等     | 第18回日本アレルギー学会春季臨床大会 | 大嶋 勇成 |
| シンポジウム等     | 第18回日本アレルギー学会春季臨床大会 | 眞弓 光文 |
| シンポジウム等     | 第6回日本赤ちゃん学会         | 中井 昭夫 |

#### (D) 学術雑誌等の編集

| 学術雑誌等の名称                  | 委員長（主査）・委員の別            | 氏名    |
|---------------------------|-------------------------|-------|
| 「ベビーサイエンス」                | 編集委員                    | 中井 昭夫 |
| 日本小児アレルギー学会誌              | 編集委員（1998年～2005年 編集委員長） | 眞弓 光文 |
| Allergology International | 編集委員                    | 眞弓 光文 |

#### (E) その他

| <報道>  |
|---|
| ・ 中井 昭夫: 特集「こんにちは赤ちゃん」, 福井新聞 おとな日, 2006.01  |
| ・ 塚原 宏一: 酸化ストレスとレドックス制御, ラジオNIKKEI, 2006.01   |
| ・ 大嶋 勇成: 子どものアレルギーについて part 2 アトピー性皮膚炎, アトピー性皮膚炎について, 福井市企画制作部男女共同参画室・少子化対策センター内「ほっと」誌, 2006.02               |
| ・ 大嶋 勇成: 子どものアレルギーについて part 3 アトピー性（アレルギー性）喘息, アトピー性（アレルギー性）喘息について, 福井市企画制作部男女共同参画室・少子化対策センター内「ほっと」誌, 2006.09 |
| ・ *佐々木 綾子, 中井 昭夫: 保育の体験「母性」育む, 朝日新聞, 2006.11  |

## 6. 産業・社会への貢献

### (A) 国・地域等への貢献

#### (1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

| 区分    | 機関・委員会の名称等                    | 役職     | 氏名    | 期間       |
|-------|-------------------------------|--------|-------|----------|
| 国     | 日本新生児医療連絡会                    | 福井地区代表 | 塚原 宏一 | 2003～    |
| 国     | 日本新生児医療連絡会                    | 委員     | 塚原 宏一 | 2003～    |
| 地方自治体 | 福井県, 福井県健康づくり推進協議会<br>母子保健部会  | 委員     | 眞弓 光文 | 2000～    |
| 地方自治体 | 福井県, 福井県心身障害児就学指導委員会          | 委員     | 眞弓 光文 | 2003～    |
| 地方自治体 | 福井県, 福井県周産期医療協議会              | 委員     | 眞弓 光文 | 2003～    |
| 地方自治体 | 福井県, 福井県難病対策協議会小児慢性特定疾患認定審査部会 | 委員     | 塚原 宏一 | 2003～    |
| 地方自治体 | 福井県特殊教育センター, 巡回教育相            | 委員     | 中井 昭夫 | 2005.04～ |

|       |                   |           |       |       |
|-------|-------------------|-----------|-------|-------|
|       | 談                 |           |       |       |
| 地方自治体 | 福井県, 福井県小児医療体制検討会 | 委員        | 眞弓 光文 | 2006  |
| 公益法人等 | 財団法人母子保健衛生研究会     | 顧問        | 眞弓 光文 | 1998～ |
| 公益法人等 | NPOバリアフリー推進協会     | 理事        | 眞弓 光文 | 2001～ |
| 公益法人等 | 財団法人日本アレルギー協会     | 理事, 北陸支部長 | 眞弓 光文 | 2002～ |
| 公益法人等 | 福井県糖尿病協会          | 理事        | 畑 郁江  | 2004～ |
| 公益法人等 | RNフォーラム           | 幹事        | 平岡 政弘 | 2004～ |
| その他   | 膠原病支援ネットワーク       | 支援医師      | 大嶋 勇成 | 2004～ |

## (2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

| 区分   | 活動名・活動内容  | 主催者・対象者等   | 氏名    |
|------|---|--|-------|
| 学校医等 | 教育委員会、学校との連携・協力による活動, 学校医   | 福井県立福井東養護学校五領分教室, 中学生・小学生  | 眞弓 光文 |
| 講演   | 県内高等教育機関、医療機関との交流, 小児喘息の病態と治療                                       | 福井県病院薬剤師会, 専門職業人, 40人  | 眞弓 光文 |
| 講演   | 医師卒後教育, 小児喘息の病態と治療  | 徳島県医師会学術講演会特別講演, 専門職業人   | 眞弓 光文 |
| 講演   | 県内高等教育機関、医療機関との交流, 小児アレルギー疾患  | 福井市教職員組合養護教員部会, 専門職業人, 60人                                       | 眞弓 光文 |
| 講演   | 医師卒後教育, 小児喘息の病態と治療  | 第1回京都小児救急疾患研究会特別講演, 専門職業人  | 眞弓 光文 |
| 講演   | 医師卒後教育, 小児気管支喘息の病態と治療   | 千葉アレルギー・ロイコトリエン研究会2006特別講演, 専門職業人                                | 眞弓 光文 |
| 講演   | 専門職業人に対する研修, セミナー等の講師, 小児アレルギー疾患の病態から見た薬物治療の考え方/京都薬科大学京薬会卒後教育2006年度 | 専門職業人, 300人  | 大嶋 勇成 |
| 講演   | 福井糖尿病療養指導担当者講習会, 福井糖尿病療養指導担当者講習会                                    | 福井糖尿病療養指導担当者講習会, 専門職業人, 100人, 講師                                 | 畑 郁江  |
| 講演   | 県内高等教育機関、医療機関との交流, 福井喘息座談会特別講演                                      | 福井喘息座談会, 専門職業人, 25人  | 眞弓 光文 |
| 講演   | 研修講座 (兼 初任者研修), 「教師のための医学的な基礎知識」—いわゆる軽度発達障害の正しい理解にむけて—              | 福井県特殊教育センター, 専門職業人   | 中井 昭夫 |
| 講演   | 研修講座 (兼 初任者研修), 「教師のための医学的な基礎知識」—子どもの虐待を科学する—                       | 福井県特殊教育センター, 専門職業人   | 中井 昭夫 |
| 講演   | 県内高等教育機関、医療機関との交流, 福井県内科医会・小児科医会学術講演会特別講演                           | 福井県内科医会、小児科医会, 専門職業人, 40人  | 眞弓 光文 |
| 講演   | 一般、専門職業人に対する研修, セミナー等の講師, 「発達障害を有する子どもの理解のために ～脳科学の見地から～」           | 独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金助成 「発達障害を有する子どもの理解と支援」講座, 専門職業人・一般, 40人 | 中井 昭夫 |
|      | 医師卒後教育, 小児気管支喘息の病態と   | 滋賀小児科医会特別講演,   |       |

|      |  |  |                            |
|------|--|--|----------------------------|
| 講演   | 治療－JPGL2005を踏まえて－  | 専門職業人  | 眞弓 光文                      |
| 講演   | 専門職業人に対する研修，セミナー等の講師，小児喘息の最新の治療/坂井地区薬剤師10月勉強会                        | 専門職業人，30人  | 大嶋 勇成                      |
| 講演   | 県内高等教育機関、医療機関との交流，福井県小児科医会学術講演会特別講演                                  | 福井県小児科医会，専門職業人，30人                                       | 眞弓 光文                      |
| 講演   | 医師卒後教育，小児気管支喘息の病態と治療－乳児喘息を中心に－                                       | 石川県小児科医会秋期例会特別講演，専門職業人                                   | 眞弓 光文                      |
| 講演   | 専門職業人に対する研修，セミナー等の講師，「摂食・嚥下障害の原因・病態」                                 | 平成18年度 福井県医療的ケアサポート推進事業 医療的ケアが必要な児童生徒等に関する教員研修，専門職業人，50人 | 中井 昭夫                      |
| 講演   | 県内高等教育機関、医療機関との交流，小児のアレルギー疾患   | 市立敦賀病院職員等研修会，専門職業人                                       | 眞弓 光文                      |
| 講演   | 教員に対する「医療的ケア」校内研修会の講師，教員に対する「医療的ケア」校内研修会                             | 福井県立福井養護学校，専門職業人   | 川谷 正男                      |
| 講演   | 専門職業人に対する研修，セミナー等の講師，北陸地区における小児喘息実態調査結果報告/Airway Forum in Fukui 2007 | 専門職業人，50人  | 大嶋 勇成                      |
| 講演   | 社会人講師による進路ガイダンス  | 高校生，40人  | 田村 知史                      |
| セミナー | 福井県小児糖尿病サマーキャンプ  | 一般   | 畑 郁江                       |
| セミナー | 専門職業人に対する研修，セミナー等の講師，小児気管支喘息ガイドライン/福井喘息座談会                           | 専門職業人，30人  | 大嶋 勇成                      |
| セミナー | 専門職業人に対する研修，セミナー等の講師，小児糖尿病について/平成18年度学校栄養職員および養護教員ステップアップ研修会の講師      | 専門職業人，5人   | 畑 郁江                       |
| セミナー | 医療的ケアに関わる教員に対する研修，セミナー，H18年度医療的ケアサポート推進事業「医療的ケアが必要な児童・生徒などに対する教員研修」  | 福井県特殊教育センター主催 福井県立大学看護学科にて，専門職業人，18.3.2/                 | 川谷 正男                      |
| その他  | 県内高等教育機関，医療機関との交流，軽度発達障害に関する臨床的研究                                    | 平谷こども発達クリニック，専門職業人                                       | 中井 昭夫，川谷 正男，+平谷 美智夫        |
| その他  | 県内高等教育機関，医療機関との交流，軽度発達障害に関する臨床的研究                                    | 福井県立大学 学術教養センター，専門職業人                                    | 中井 昭夫，川谷 正男，+清水 聡          |
| その他  | 県内高等教育機関、医療機関との交流，アレルギー研修会2006福井                                     | 福井県医師会，専門職業人，40人   | 眞弓 光文                      |
| その他  | 「発達健診」および「こどもの発達相談」，「発達健診」および「こどもの発達相談」                              | 越前市健康増進課 越前市福祉健康センター，幼稚園                                 | 川谷 正男                      |
| その他  | 県内高等教育機関、医療機関との交流，第37回福井県小児保健協会学術集会                                  | 福井県小児保健協会，専門職業人・一般，80人                                   | 眞弓 光文                      |
| その他  | 県内高等教育機関、医療機関との交流，第9回福井感染症フォーラム                                      | 福井県医師会，専門職業人，50人   | 眞弓 光文                      |
| その他  | 県内高等教育機関，医療機関との交流，発達障害の認知運動療法に関する臨床的検討                               | 学校法人新田塚学園 福井医療技術専門学校，専門職業人                               | 中井 昭夫，川谷 正男，+與河 かおり，+山崎 京子 |

**(B) その他業績**

・ 大嶋 勇成: 財団法人日本アレルギー協会・福井県・北陸支部主催 アレルギー週間関連事業 福井アレルギー電話相談, 一般市民からのアレルギーに関する電話相談, 2007.02

**(C) 特記事項**

・ 谷澤 昭彦: 日本骨髄移植推進財団の調整医師として、ドナーへの説明や確認検査を行っている。移植医療の推進に貢献している。